

第3章 3R【問10～問12】

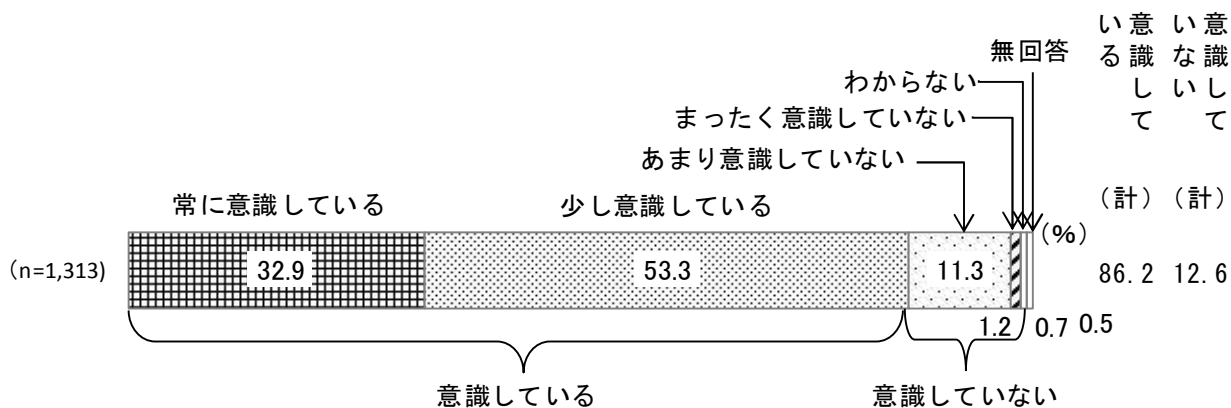
1 日常生活における3Rの意識【問10】

【全体の状況】

日常生活で、3Rを意識して行動しているか尋ねたところ、「常に意識している」(32.9%)と「少し意識している」(53.3%)を合わせた《意識している》(86.2%)は8割台となった。

一方、「まったく意識していない」(1.2%)と「あまり意識していない」(11.3%)を合わせた《意識していない》(12.6%)は1割台であった。(図表3-1-1)

図表3-1-1 日常生活における3Rの意識



【地域別の状況】

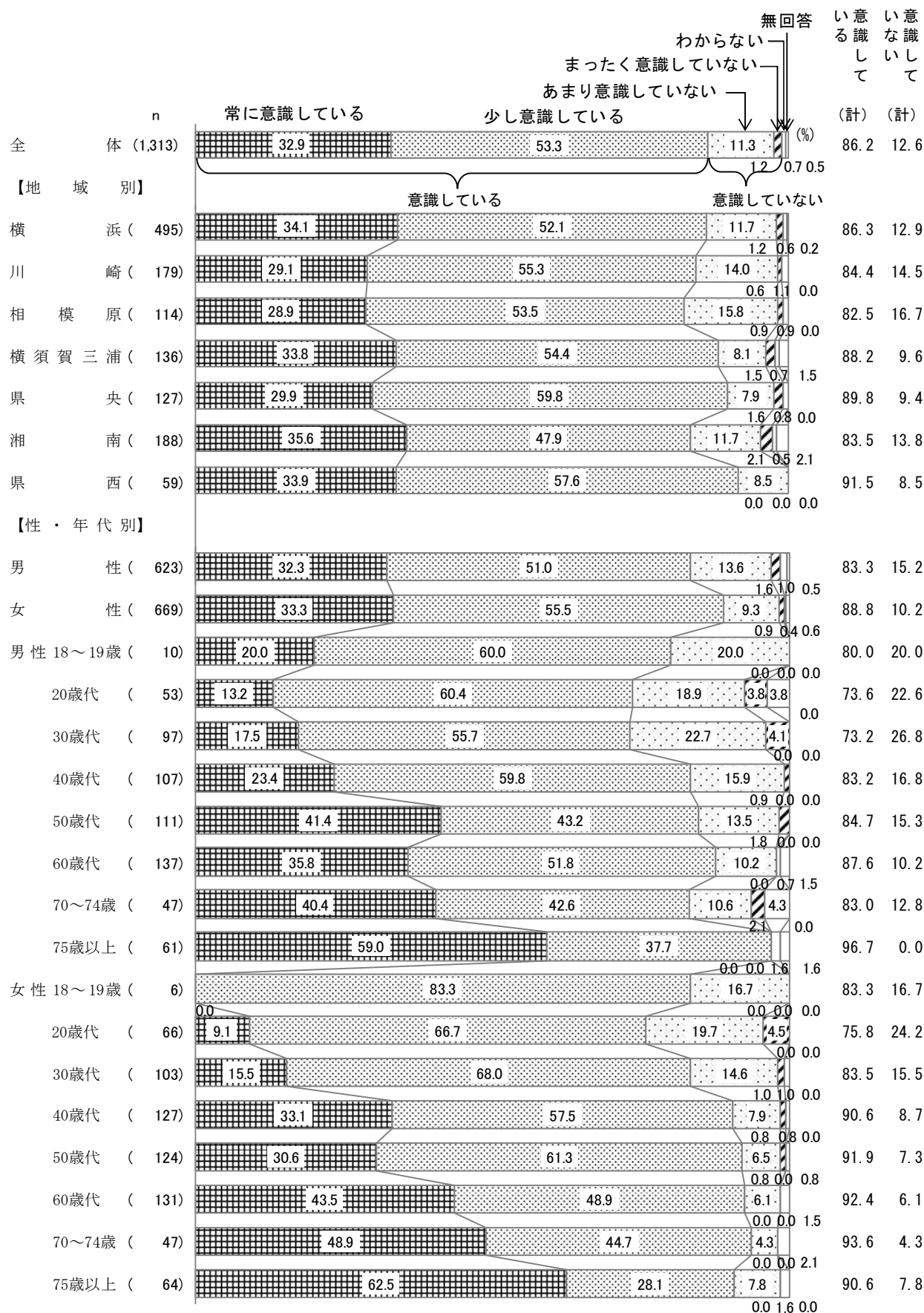
地域別にみると、《意識している》は、県西 (91.5%) が最も多く、次いで県央 (89.8%) が多かった。(図表3-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、《意識している》は、女性 (88.8%) が男性 (83.3%) を5.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、《意識している》は、男性の75歳以上 (96.7%) と女性の40歳代～75歳以上 (90.6%～93.6%) がそれぞれ9割を超えて多かった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 日常生活における3Rの意識—地域別、性・年代別

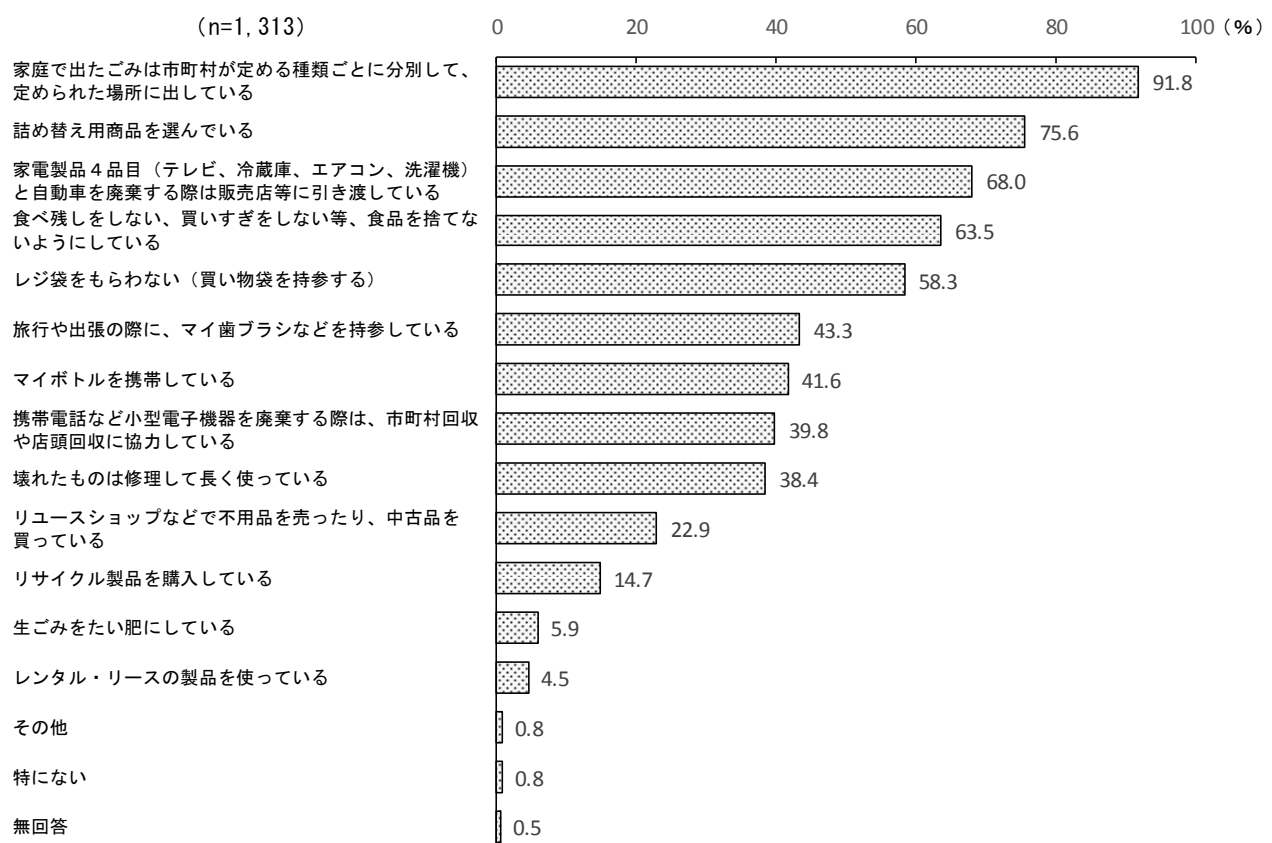


2 実践している3R行動【問11】

【全体の状況】

3Rの行動を提示して、行っていることはあるか複数回答で尋ねたところ、「家庭で出たごみは市町村が定める種類ごとに分別して、定められた場所に出している」(91.8%)が約9割で最も多く、「詰め替え用商品を選んでいる」(75.6%)と「家電製品4品目(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)と自動車を廃棄する際は販売店等に引き渡している」(68.0%)が続いた。(図表3-2-1)

図表3-2-1 実践している3R行動(複数回答)



【地域別の状況】

地域別にみると、「詰め替え用商品を選んでいる」は、県西(81.4%)が約8割で最も多かった。「家電製品4品目(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)と自動車を廃棄する際は販売店等に引き渡している」は、横須賀三浦(75.7%)と湘南(70.7%)がともに7割を超えて多かった。(図表3-2-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「マイボトルを携帯している」は、女性(52.2%)が男性(30.5%)を21.7ポイント大きく上回った。また、「レジ袋をもらわない(買い物袋を持参する)」は、女性(66.7%)が男性(49.3%)を17.4ポイント上回った。「詰め替え用商品を選んでいる」は、女性(83.9%)が男性(66.9%)を17.0ポイント上回った。

性・年代別にみると、「詰め替え用商品を選んでいる」は、女性の30歳代（91.3%）が最も多く、次いで女性の40歳代（89.8%）が多かった。また、「家電製品4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）と自動車を廃棄する際は販売店等に引き渡している」は、男性の60歳代（81.0%）と女性の50歳代（87.9%）・60歳代（84.0%）・75歳以上（85.9%）がそれぞれ8割を超えて多かった。

（図表3-2-2）

図表3-2-2 実践している3R行動（複数回答）—地域別、性・年代別

		(%)																
	n	家庭で出たごみは市町村が定める種類ごとに分別して、定められた場所に出している	詰め替え用商品を選んでいる	家電製品4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）と自動車を廃棄する際は販売店等に引き渡している	食品を捨てないようにしている	食べ残しをしない、買いすぎをしない等、食品を捨てないようにしている	レジ袋をもらわない（買い物袋を持参する）	旅行や出張の際に、マイ歯ブラシなどを持参している	マイボトルを携帯している	携帯電話など小型電子機器を廃棄する際は、市町村回収や店頭回収に協力している	壊れたものは修理して長く使っている	リユースショップなどで不用品を売ったり、中古品を買っている	リサイクル製品を購入している	生ごみをたい肥にしている	レンタル・リースの製品を使っている	その他	特にない	無回答
全体	1,313	91.8	75.6	68.0	63.5	58.3	43.3	41.6	39.8	38.4	22.9	14.7	5.9	4.5	0.8	0.8	0.5	
【地域別】																		
横浜	495	91.1	76.4	66.7	62.0	56.4	48.1	39.4	40.4	41.6	24.4	13.9	4.8	5.1	1.0	1.0	0.2	
川崎	179	92.2	77.1	62.0	63.1	55.9	39.1	35.8	39.7	31.3	16.8	15.6	1.7	5.6	1.1	1.7	-	
相模原	114	91.2	76.3	67.5	62.3	56.1	36.8	47.4	33.3	44.7	24.6	14.9	7.0	4.4	-	0.9	-	
横須賀三浦	136	95.6	68.4	75.7	64.7	52.9	40.4	38.2	48.5	43.4	27.9	15.4	8.8	2.9	0.7	-	1.5	
県央	127	93.7	77.2	66.9	66.1	58.3	43.3	50.4	29.9	29.1	24.4	17.3	9.4	6.3	0.8	-	-	
湘南	188	88.8	73.9	70.7	61.7	70.7	42.6	43.6	44.7	33.5	20.2	13.3	4.8	2.1	0.5	1.1	2.1	
県西	59	94.9	81.4	69.5	72.9	59.3	37.3	49.2	33.9	42.4	18.6	10.2	10.2	3.4	1.7	-	-	
【性・年代別】																		
男性	623	90.7	66.9	63.2	62.4	49.3	39.6	30.5	39.5	41.4	19.7	13.6	5.8	3.4	0.5	1.3	0.5	
女性	669	92.7	83.9	71.9	64.1	66.7	46.8	52.2	40.4	35.4	25.9	15.1	5.5	5.5	1.2	0.4	0.6	
男性 18～19歳	10	80.0	50.0	30.0	70.0	40.0	60.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	
20歳代	53	71.7	71.7	24.5	52.8	45.3	50.9	22.6	24.5	35.8	18.9	11.3	-	9.4	-	5.7	-	
30歳代	97	85.6	74.2	43.3	63.9	50.5	28.9	24.7	27.8	33.0	25.8	12.4	1.0	8.2	1.0	5.2	-	
40歳代	107	93.5	75.7	58.9	53.3	49.5	31.8	30.8	33.6	42.1	29.9	14.0	0.9	0.9	-	-	-	
50歳代	111	91.9	68.5	70.3	65.8	51.4	32.4	23.4	30.6	36.0	25.2	11.7	6.3	1.8	-	-	-	
60歳代	137	94.9	61.3	81.0	62.8	51.1	46.7	37.2	51.8	46.7	10.2	16.1	8.8	2.2	-	-	1.5	
70～74歳	47	97.9	53.2	76.6	66.0	48.9	48.9	34.0	57.4	51.1	10.6	14.9	14.9	2.1	2.1	-	-	
75歳以上	61	95.1	59.0	78.7	73.8	44.3	47.5	44.3	59.0	52.5	11.5	14.8	13.1	1.6	1.6	-	1.6	
女性 18～19歳	6	66.7	66.7	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	16.7	50.0	50.0	33.3	-	-	-	-	-	
20歳代	66	81.8	72.7	24.2	57.6	62.1	54.5	34.8	18.2	31.8	39.4	7.6	1.5	3.0	1.5	1.5	-	
30歳代	103	90.3	91.3	52.4	50.5	59.2	38.8	52.4	36.9	30.1	34.0	9.7	2.9	6.8	1.9	1.0	-	
40歳代	127	93.7	89.8	79.5	63.8	69.3	43.3	59.8	38.6	37.8	31.5	18.1	3.9	7.1	0.8	-	-	
50歳代	124	96.0	87.1	87.9	64.5	66.1	46.8	47.6	41.9	40.3	24.2	19.4	7.3	6.5	0.8	-	0.8	
60歳代	131	93.9	84.7	84.0	71.8	71.8	45.8	50.4	42.7	35.1	19.8	17.6	6.1	4.6	0.8	0.8	1.5	
70～74歳	47	95.7	72.3	70.2	72.3	55.3	53.2	63.8	55.3	40.4	10.6	12.8	4.3	2.1	2.1	-	2.1	
75歳以上	64	96.9	73.4	85.9	70.3	73.4	56.3	60.9	54.7	29.7	12.5	12.5	14.1	6.3	1.6	-	-	

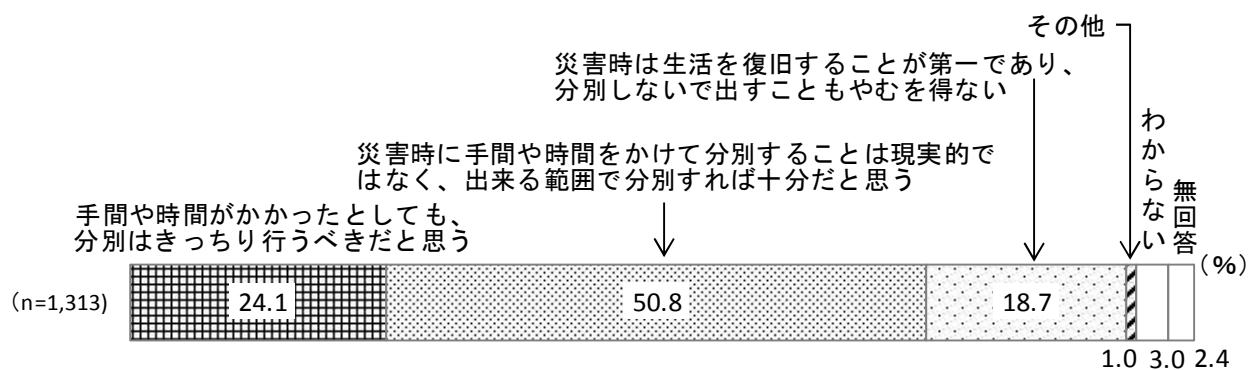
3 大規模な災害で発生したごみの分別排出【問12】

【全体の状況】

大規模な地震や洪水等に伴って発生したごみ（壊れたり濡れたりした家具・家電、割れた食器等）を分別排出することについてどう思うか尋ねたところ、「災害時に手間や時間をかけて分別することは現実的ではなく、出来る範囲で分別すれば十分だと思う」（50.8%）が約5割で最も多く、次いで「手間や時間がかかったとしても、分別はきっちり行うべきだと思う」（24.1%）が2割台であった。

（図表3-3-1）

図表3-3-1 大規模な災害で発生したごみの分別排出



【地域別の状況】

地域別にみると、「災害時に手間や時間をかけて分別することは現実的ではなく、出来る範囲で分別すれば十分だと思う」は、県央（55.9%）、湘南（53.7%）、県西（52.5%）、横浜（52.1%）がそれぞれ5割台が多かった。「手間や時間がかかったとしても、分別はきっちり行うべきだと思う」は、川崎（29.6%）が3割であった。また、「災害時は生活を復旧することが第一であり、分別しないで出すこともやむを得ない」は、横須賀三浦（26.5%）と県西（22.0%）がともに2割台であった。

（図表3-3-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、「災害時に手間や時間をかけて分別することは現実的ではなく、出来る範囲で分別すれば十分だと思う」は、女性（53.5%）が男性（48.6%）を4.9ポイントわずかに上回り、一方、「手間や時間がかかったとしても、分別はきっちり行うべきだと思う」は、男性（26.5%）が女性（21.7%）を4.8ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「災害時に手間や時間をかけて分別することは現実的ではなく、出来る範囲で分別すれば十分だと思う」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男性の20歳代（62.3%）と女性の30歳代（61.2%）・40歳代（63.0%）がそれぞれ6割を超えて多かった。また、「災害時は生活を復旧することが第一であり、分別しないで出すこともやむを得ない」は、女性の70～74歳（34.0%）が最も多く、次いで女性の75歳以上（28.1%）が多かった。（図表3-3-2）

図表3-3-2 大規模な災害で発生したごみの分別排出—地域別、性・年代別

